

みんなで創ろう明るい砥部町

『家族の幸せ最優先』町民が主役のまちづくり



県議会議員 山本 敬孝

中村 つよし

愛媛県知事 加戸 守行

知事も県議も私も若い！（平成11年）



加戸知事を偲んで 7月例会



知事に陳情(平成17年)



知事のご講話(平成23年)

つよしさんのお楽しみ日記 86

「加戸守行さんを偲んで」の巻

私はいろいろな催しや会に誘われるといつも「ハイヨロコンデ」と参加しますがそのほとんどは気楽な飲み会であったりゴルフ等の親睦会です。

その中に「つだけ(？)真面目な勉強会があります、会の名前は「21世紀の愛媛を語る会」です。と言っても窮屈な会ではありません。

もう二十年近くになるでしょうか。主宰は愛媛県議会議員の森高康行さんで毎回県政のことや国政に対するコメントがあり、その後会員又は外部の方の講話があります。

今回は「加戸守行さんを偲んで」の会となり県議から加戸さんの人となりのお話があり、続いて出席者全員からそれぞれの思いで話がありました。

さて、私は加戸前知事さんに町長時代から特に可愛がって頂きました。恐らく加戸さんにとって私みたいなタイプの人間との付き合いは初めてだったのではないのでしょうか……。

「素人町長奮闘記」のまえがきに「いやあ驚きました。豆タンクのような容姿風貌もさることながら、人懐っこい笑顔、開けっぴろげな陽性、典型的な伊予訛り、全く飾らない人柄、すぐに人の心を掴むコツ、すべてが前向きな発想町行政を営業的センスで進めるやり方……」と記して下さいました。

先日、奥様からお電話を頂きお伺いした時「急だったんですネ」と申し上げると「もう昨年春に余命は半年から一年半と言われていたんですヨ、それでも主人は案内を頂くと義理を果たさないと、いとわず出席していました」私が今年初めのパーティーで同席させて頂いた時も椅子を用意させて頂いたのですが、笑いながら「下から見上げて聞くのは失礼でしょう」と言われて座られませんでした。

いろいろな思い出を頂いた加戸前知事どうぞ安らかに眠りください。



中村 剛志